ALLIANCEBERNSTEIN®

交付運用報告書

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・オープンA（為替ヘッジなし）
[愛称：NK・コンパス（羅針盤）]

追加型投信／内外／債券

第257期（決算日2018年12月10日）　第258期（決算日2019年１月10日）　第259期（決算日2019年２月12日）
第260期（決算日2019年３月11日）　第261期（決算日2019年４月10日）　第262期（決算日2019年５月10日）
作成対象期間（2018年11月13日～2019年５月10日）

第262期末（2019年５月10日）	
基準価額	5,127円
純資産総額	16,208百万円
第257期～第262期	
騰落率	0.4%
分配金（税込み）合計	150円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・オープンA（為替ヘッジなし）」は、このたび第262期の決算を行いました。
当ファンドは、マザーファンドを通じて世界中の公社債の中から相対的に投資価値の高い証券に分散投資することにより、インカム・ゲインの確保とともにキャピタル・ゲインの獲得をめざすアクティブ運用を行います。第257期から第262期もこれに沿った運用を行ってまいりましたので、その運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社
〒100-0011　東京都千代田区内幸町二丁目１番６号 日比谷パークフロント
お問合せ先　**お客様窓口**
電話番号　**０３－５９６２－９６８７**（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）
ホームページアドレス https://www.alliancebernstein.co.jp

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。
○当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

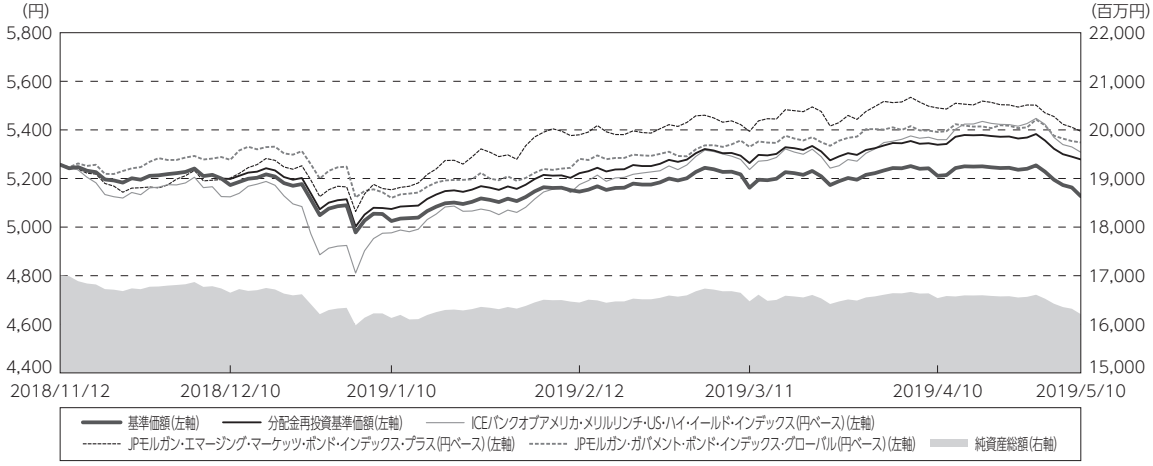
＜「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法＞
上記ホームページアドレスにアクセス ➡「基準価額一覧（国内投資信託）」を選択 ➡「債券型」の表内の当ファンド名を選択 ➡「運用報告書（全体版）」のリンクを選択

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・オープンA（為替ヘッジなし）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

作成期間中の基準価額等の推移

（2018年11月13日～2019年5月10日）



第257期首：5,257円
第262期末：5,127円（既払分配金（税込み）：150円）
騰　落　率：　0.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）上記騰落率は、小数第２位を四捨五入して表示しております。
（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2018年11月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）参考指数は、ICEバンクオブアメリカ・メリルリンチ・US・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）、JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）およびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）です。詳細は４ページをご参照ください。

○基準価額の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前作成期末比0.4%の上昇※となりました。

※基準価額の騰落率は、各決算期末の税込み分配金を当該決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

＜値上がり要因＞

・保有債券の利息収入
・ハイイールド社債の価格上昇
・新興国債券の価格上昇

＜値下がり要因＞

・円高／ドル安の進行

1万口当たりの費用明細

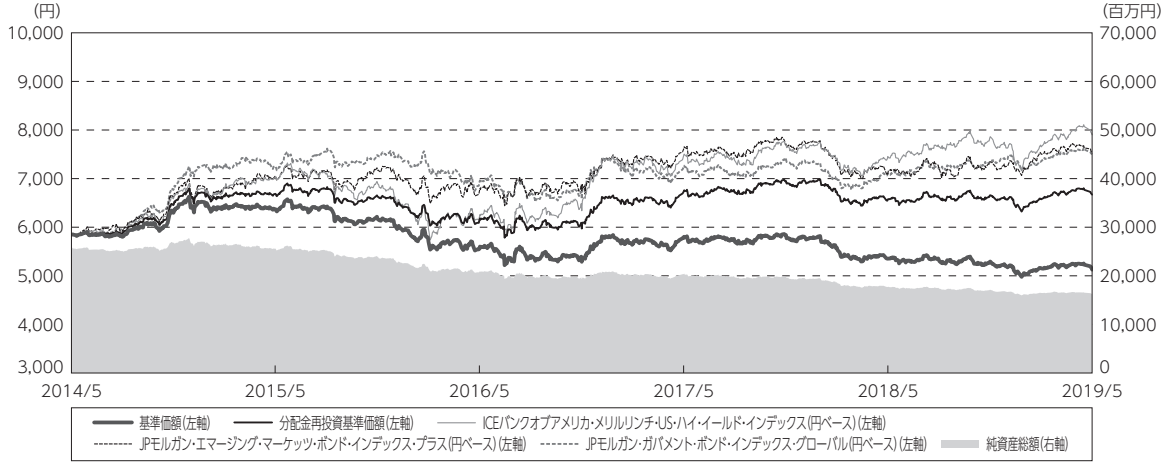
（2018年11月13日～2019年5月10日）

項目	第257期～第262期 金額	第257期～第262期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	43	0.821	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(19)	(0.371)	委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価
（販売会社）	(22)	(0.424)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(1)	(0.026)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
（株式）	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数
（株式）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.012	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.003)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	44	0.833	
作成期間中の平均基準価額は、5,177円です。			

（注）作成期間中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は、１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2014年5月12日～2019年5月10日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、2014年５月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年５月12日 決算日	2015年５月11日 決算日	2016年５月10日 決算日	2017年５月10日 決算日	2018年５月10日 決算日	2019年５月10日 決算日
基準価額　(円)	5,844	6,370	5,564	5,779	5,351	5,127
期間分配金合計（税込み）　(円)	－	300	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	14.4	△ 8.2	9.6	△ 2.3	1.5
ICEバンクオブアメリカ・メリルリンチ・US・ハイ・イールド・インデックス(円ベース)騰落率　(%)	－	20.0	△ 11.5	20.4	△ 0.2	6.0
JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス(円ベース)騰落率　(%)	－	20.6	△ 4.4	12.8	△ 6.5	5.8
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル(円ベース)騰落率　(%)	－	24.2	△ 4.6	4.6	△ 1.7	5.5
純資産総額　(百万円)	25,786	25,567	20,789	20,330	17,701	16,208

（注）上記騰落率は、小数第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）参考指数は、ICEバンクオブアメリカ・メリルリンチ・US・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）、JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）およびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）です。詳細は４ページをご参照ください。

●参考指数に関して

○ICEバンクオブアメリカ・メリルリンチ・US・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）

ICEバンクオブアメリカ・メリルリンチ・US・ハイ・イールド・インデックス（*）は、ICE Data Indices, LLCが算出・公表する、米ドル建てで発行されたハイ・イールド・ボンド市場の動きを示す指数です。ICEバンクオブアメリカ・メリルリンチ・US・ハイ・イールド・インデックス（*）（円ベース）は、ICEバンクオブアメリカ・メリルリンチ・US・ハイ・イールド・インデックス（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。

（*）ICEバンクオブアメリカ・メリルリンチ・US・ハイ・イールド・インデックス：ICE BofAML US High Yield Index
ICE BofAML US High Yield Index®（以下この項目において「インデックス」といいます。）は、ICE Data Indices, LLC（以下「ICE Data」）の許可を得て使用されています。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者たる提供者は、明記されているかどうかに関わらず、インデックス、インデックス・データ及びそれらに関連する一切のデータや、インデックスを使用する特定の目的や使用される商品自体等について、一切保証しません。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者たる提供者は、インデックス、インデックス・データもしくはそれらの構成要素の妥当性、正確性、適時性又は完全性に関して、いかなる責任も負うものではありません。インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は現状のまま提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者たる提供者は、アライアンス・バーンスタイン株式会社又はその商品もしくはサービスを推奨するものではありません。
上記はICE Dataの英語のディスクレーマーを翻訳したものであり、英語版と日本語版の間に齟齬があった場合には、英語版が優先します。英語版をお求めの場合には、アライアンス・バーンスタイン株式会社にお問合せください。

○JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）

JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラスは、ジェー・ピー・モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが開発したエマージングの債券市場の動きを表す指数で、新興国が発行する米ドル建ての国債を対象に時価総額ベースで算出されたものです。JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）は、JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバルは、ジェー・ピー・モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが開発した先進国の債券市場の動きを表す指数で、先進国が発行する国債を対象に算出されたものです。JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）は、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（米ドルヘッジベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。

投資環境

（2018年11月13日～2019年5月10日）

当作成期の債券市場については、先進国国債、新興国債券および投資適格社債において堅調な展開となりました。また、為替市場では前作成期末比で円高ドル安となりました。

先進国の国債：

米国国債は、当作成期を通じて金利は低下基調で推移しました。期初から2019年１月初旬にかけては、米中関係悪化への懸念などから米国株式市場が大きく下落したことを受け、金利も大きく低下（価格は上昇）しました。その後、米連邦準備理事会（ＦＲＢ）による市場懸念に配慮した発言から米国株式市場が反発したことに伴い金利はやや上昇（価格は下落）したものの、３月にはＦＲＢが年内利上げの見送りを示したことから金利は再び低下しました。４月以降、当作成期末にかけては、世界的な景気減速懸念が和らいだことで金利はやや上昇しました。

欧州の国債は、ドイツ国債については、米中通商交渉の進展の期待から欧州株式市場が回復したことに伴い、一時的に金利が上昇する局面があったものの、欧州委員会がユーロ圏の2019年成長率見通しを引き下げたことに加え、欧州中央銀行（ＥＣＢ）が利上げ開始時期の見通しを来年以降に先延ばししたことで景気減速が再認識されたことなどから、当作成期を通じて金利は低下しました。

日本国債は、当作成期を通じて、米中通商協議への懸念や、米国金利の低下、ＥＣＢが利上げ開始時期を先送りしたことなどから世界経済の減速が意識され、金利は低下しました。

ハイイールド社債：

2018年12月中旬にかけては、ハイテク株を中心に米国株式市場が下落したことや原油安を受けて下落したものの、その後、当作成期末にかけては、米国金利の低下や堅調な米国株式市場の流れを受けて上昇しました。

新興国債券：

米国国債金利の低下や、原油高、米欧の株式市場の上昇に伴い、当作成期を通じて上昇しました。

為替市場：

円ドル・レートは、期初から2019年年初にかけては、米国株式市場が下落したことを受け、大きく円高となりました。その後、2019年４月下旬にかけては、堅調な米国株式市場の流れを受けて円安基調で推移したものの、当作成期末には米中通商協議の不透明感の高まりから再び円高ドル安となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年11月13日～2019年5月10日）

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的としています。

マザーファンドは先進国の投資適格債への投資により、中長期的に安定した収益を確保するとともに、ハイイールド社債や新興国債券などにも投資を行い、高水準のインカム・ゲインの確保とキャピタル・ゲインの獲得を目指しております。

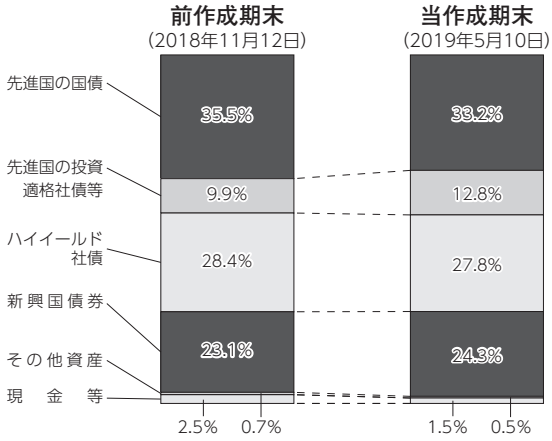
当ファンドは当作成期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

＜マザーファンド＞

世界中の公社債の中から相対的に投資価値が高い証券に分散投資を行います。運用にあたっては当作成期も引き続き債券セクター間の投資収益率の格差に着目し、より高い収益が期待される債券セクターに機動的に資産配分を行いました。

その結果、先進国の国債については、米国国債を一部売却しました。先進国の投資適格社債については、金融セクターやエネルギー・セクターの銘柄などを買い増した一方、自動車セクターなどの銘柄を一部売却しました。ハイイールド社債については、商業不動産モーゲージ担保証券や資産担保証券などの銘柄を買い増した一方、エネルギー・セクターなどの銘柄を一部売却しました。新興国債券については、インドネシアやブラジルの国債を買い増した一方、メキシコやアルゼンチンの国債を一部売却しました。

公社債のセクター別組入比率（マザーファンド）



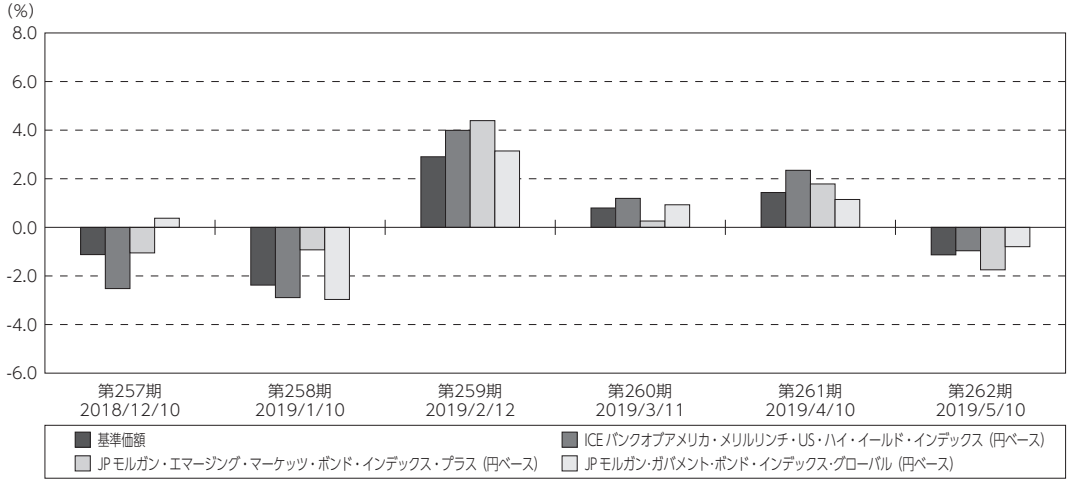
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合（それぞれ小数第２位を四捨五入）。
（注）「その他資産」は、株式、新株予約権証券、新株予約権付社債（転換社債）の合計。
（注）格付はムーディーズとS&Pのうちいずれか高い方を採用して集計したものです。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年11月13日～2019年5月10日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）参考指数は、ICEバンクオブアメリカ・メリルリンチ・US・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）、JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）およびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）です。詳細は4ページをご参照ください。

分配金

（2018年11月13日～2019年5月10日）

当作成期間の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金については、以下をご覧ください（当作成期間合計：150円）。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項　　目	第257期	第258期	第259期	第260期	第261期	第262期
	2018年11月13日～2018年12月10日	2018年12月11日～2019年1月10日	2019年1月11日～2019年2月12日	2019年2月13日～2019年3月11日	2019年3月12日～2019年4月10日	2019年4月11日～2019年5月10日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.481%	0.495%	0.483%	0.482%	0.477%	0.485%
当期の収益	16	18	24	18	22	18
当期の収益以外	8	6	0	6	2	6
翌期繰越分配対象額	315	309	308	301	299	292

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
（注）上記表は、経費控除後の数値です。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

＜マザーファンド＞

世界経済は、関税引き上げへの懸念などを背景に世界的な貿易量減少等の影響から、2019年前半の経済成長率はやや低下するとみています。一方、年央以降は各国の財政政策や緩和的な金融政策、また、ＦＲＢによる利上げ停止などの対応により、経済成長率の減速は限定的にとどまると予想しています。

先進国の国債のうち、米国については、ＦＲＢは世界経済の減速や金融市場の混乱などのリスクに大きく配慮し、2019年の利上げ予想回数をゼロに引き下げました。利上げは当面実施されないとみています。

ハイイールド社債については、クレジット・サイクルは拡大局面の終盤にさしかかりつつあるものの、企業業績はおおむね底堅く推移しています。減税政策や良好なマクロ環境が下支えとなり、後退局面への転換が先送りされると考えています。デフォルト率は長期平均を下回る水準で推移し、過去５年で最も低い水準にあります。レバレッジ比率も小幅ながら改善が続いています。しかし、今後、減税効果が薄れ、通商摩擦による影響が出始めると、企業業績は緩やかに減速へ転じると見ています。運用にあたっては、慎重に発行体や銘柄選択を行い、十分に分散されたポートフォリオを維持していく方針です。

新興国債券については、世界的にリスク回避姿勢が後退し、新興国債券市場は買戻しが優勢となってはいるものの、世界経済の先行き懸念や米中通商協議をめぐる不透明感などの外部環境要因を受けて、値動きの大きな相場が続いています。一方で、これまでの高成長と直接投資の増加によって外貨準備・財政状況は改善していることから、新興国は以前に比べ格段に外生的なショックに対する抵抗力が強くなっていると考えています。引き続き政治改革や財政面等での構造改革が進展するなど財政改善が見込める国や、足元の激しい値動きで悪材料を十分に織り込み価格面での魅力が出てきた国に投資妙味があると考えています。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

2018年11月13日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

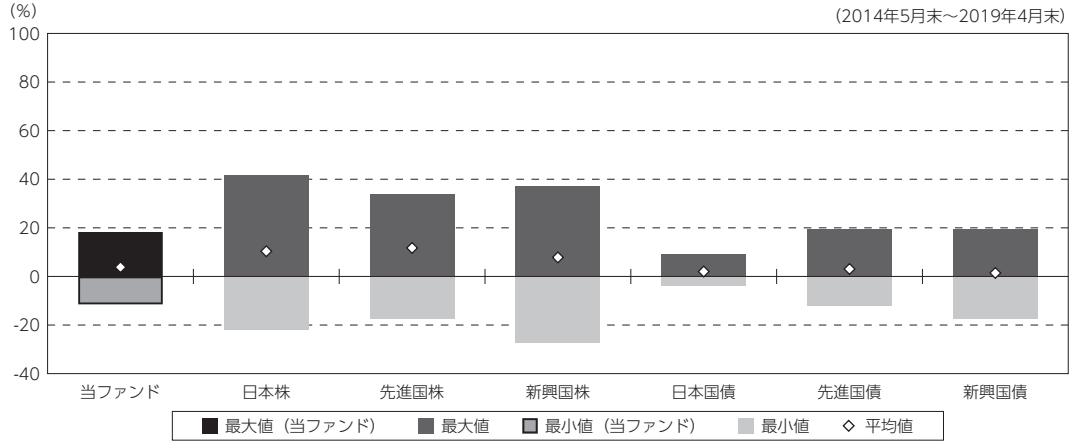
2014年12月１日に投資信託及び投資法人に関する法律が改正施行されたことに伴い、信託約款第25条の２（信用リスク集中回避のための投資制限）を新設し、一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととしました。併せて、「運用の基本方針」にも記載し、その他所要の変更を行いました。（変更日：2019年２月９日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	インカム・ゲインの確保とともに、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資対象	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・オープンA（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド	米国および米国外の投資適格国の国債・政府機関債、米国内のアセット・バック証券、米国内外の投資適格社債および高利回り社債、エマージング・カントリー公社債を主な投資対象とします。
運用方法	①マザーファンドの受益証券への投資を通じて、米国をはじめ世界中の公社債の中から、相対的に投資価値の高い証券に分散投資することにより、インカム・ゲインの確保とともにキャピタル・ゲインの獲得をめざします。 ②債券セクター間の投資収益率の格差に着目し、より高い収益が期待される債券セクターに機動的にウェートをかけた資産配分を行い、アクティブに運用します。 ③運用は、アライアンス・バーンスタイン（ＡＢ）のグループ会社に委託します。 ④毎月決算を行い、投資する公社債のインカム・ゲイン等をもとに分配します。 ⑤外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ⑥ファミリーファンド方式で運用します。	
分配方針	毎月決算を行い、原則として以下の方針により分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。また、繰越欠損金がある時は、これを控除します。）等の全額とします。 ②分配金は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	18.3	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 11.5	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	3.8	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4

（注）上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2014年５月～2019年４月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

日 本 株……TOPIX（東証株価指数、配当込み）
先進国株……MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……NOMURA－BPI国債
先進国債……FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、P15の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

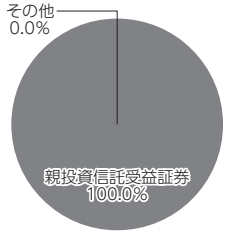
（2019年5月10日現在）

○組入ファンド

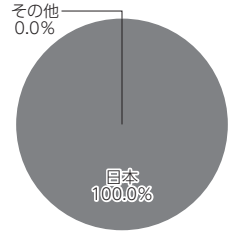
銘　　柄　　名	第262期末
	%
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド	100.0
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

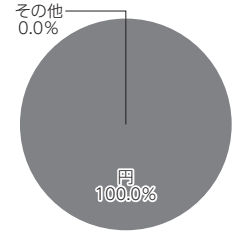
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項　　目	第257期末	第258期末	第259期末	第260期末	第261期末	第262期末
	2018年12月10日	2019年１月10日	2019年２月12日	2019年３月11日	2019年４月10日	2019年５月10日
純資産総額	16,650,435,627円	16,130,951,303円	16,447,811,331円	16,472,774,733円	16,538,499,892円	16,208,381,428円
受益権総口数	32,186,511,432口	32,099,313,971口	31,963,080,225口	31,910,702,153口	31,738,897,599口	31,611,955,261口
１万口当たり基準価額	5,173円	5,025円	5,146円	5,162円	5,211円	5,127円

（注）当作成期間（第257期～第262期）中における追加設定元本額は378,140,579円、同一部解約元本額は1,116,857,050円です。

組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド

当マザーファンドの当計算期間の運用経過等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。運用報告書（全体版）の入手方法は、表紙ページの一番下の段に記載しております。

【基準価額の推移】

（2017年11月11日～2018年11月12日）

【１万口当たりの費用明細】

（2017年11月11日～2018年11月12日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) その他費用	2	0.014
（保管費用）	(1)	(0.011)
（その他）	(0)	(0.004)
合計	2	0.014
期中の平均基準価額は、12,408円です。		

（注）上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注）期中の費用（消費税等の課されるものは消費税相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
（注）各比率は、１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

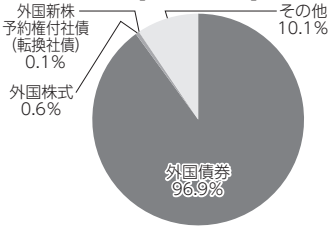
【組入上位10銘柄】

（2018年11月12日現在）

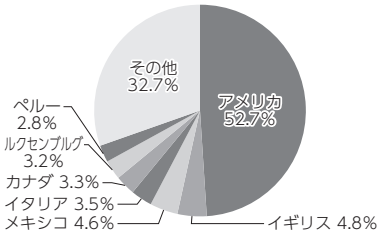
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	US TREASURY 7.125% 2023/2/15	国債証券	米ドル	アメリカ	7.5
2	US TREASURY 7.625% 2025/2/15	国債証券	米ドル	アメリカ	6.7
3	REPUBLIC OF PERU 8.75% 2033/11/21	国債証券	米ドル	ペルー	2.5
4	BUONI POLIENNALI DEL TES 5.5% 2022/11/1	国債証券	ユーロ	イタリア	2.4
5	UK TREASURY 4.25% 2040/12/7	国債証券	英ポンド	イギリス	2.2
6	US TREASURY 8% 2021/11/15	国債証券	米ドル	アメリカ	1.9
7	CANADIAN GOVERNMENT 2.5% 2024/6/1	国債証券	カナダドル	カナダ	1.7
8	MINERVA LUXEMBOURG SA 6.5% 2026/9/20	普通社債券	米ドル	ルクセンブルグ	1.6
9	US TREASURY 6.125% 2027/11/15	国債証券	米ドル	アメリカ	1.4
10	MEXICAN BONOS 5.75% 2026/3/5	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	1.4
組入銘柄数		422銘柄			

（注）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注）国（地域）につきましては発行国を表示しております。

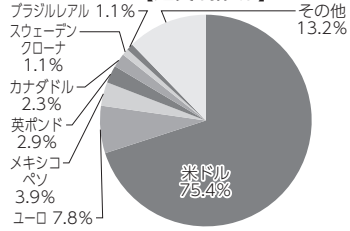
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

【直物為替先渡取引残高】

（2018年11月12日現在）

銘柄別		取引契約残高 当期末想定元本額			
		買建額		売建額	
		外貨建金額	邦貨換算金額	外貨建金額	邦貨換算金額
米ドル		千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
	(アルゼンチンペソ)	－	－	339	38
	(ブラジルレアル)	324	36	1,034	117
	(チリペソ)	2,292	261	1,146	130
	(コロンビアペソ)	730	83	730	83
	(インドネシアルピア)	－	－	207	23
	(インドルピー)	2,978	339	1,445	164
	(韓国ウォン)	1,560	177	1,560	177
	(マレーシアリンギット)	－	－	699	79
	(ロシアルーブル)	13	1	6	0
	(ウルグアイペソ)	－	－	96	10

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX（東証株価指数、配当込み）
TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債
NOMURA － BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。